

最近若者の政治  
離れが気になる

そうだね



岡山市はどんな対策  
をしているのかな？



岡山市に聞きに  
行ってみよう！

オー！





## 43.01%の衝撃



いきなりですが、「43.01%」これは何の数字かわかりますか？これは2021年10月の衆議院議員選挙の10代の投票率です。半数以上が投票を棄権しています。

各都道府県選挙委員会の資料によると、岡山県は過去6回の衆議院議員選挙・参議院議員選挙の平均投票率が47位中43位と低くなっています。

ユース層の投票率が低い原因は「選挙や政治への無関心」です。前回衆院選の調査によると、投票に行かなかった人の10人中3人が「都合がつかなかった」とほかの用事を優先し、ほぼ同じ割合が「関心がなかった」と答えています。

もともと若者の投票率や若い議員の割合は低いことに加え、近年少子高齢化も進行しています。高齢者の票が有効投票数に占める割合が多くなり、当選を左右することで、議員は高齢者向けの政策を掲げるようになります。高齢者の議員が多くなると、かわりばえのない閉塞感で政治がつまらないという印象を若者に抱かせ、ますます若者の政治離れを加速させてしまいます。私達のふるさと岡山はこのままで大丈夫なのかという危機感を抱きました。

私達は、町議会議員選挙や町長選挙で80%以上の投票率となっている県北の奈義町の取材を行い、投票率向上について一つの仮説を立てました。

### 地域活動の経験が投票行動など政治参加につながる

この仮説を検証しようと、2021年秋の第49回衆議院議員選挙直後に高校三年生を対象にオンライン上でアンケートを行い、135人から回答を得ることができました。

#### 高校生の政治参加と地域参加に関するアンケート

カテゴリ：政治行政 16問  
アンケートにご協力お願いします。当てはまる○にチェックを入れてください。

Google にログインすると作業内容を保存できます。詳細

次へ

フォームをクリア

# アンケート結果

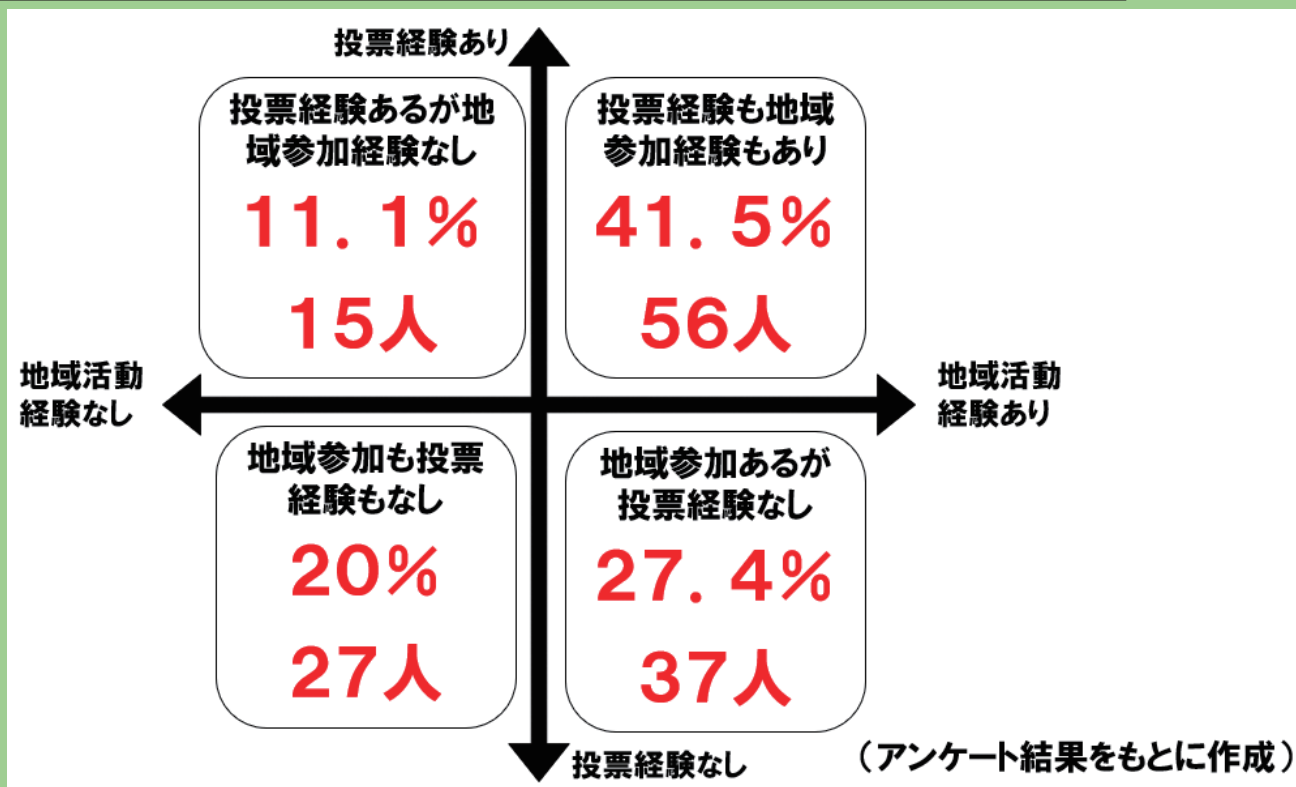
岡山市選挙管理委員会

公式Twitter

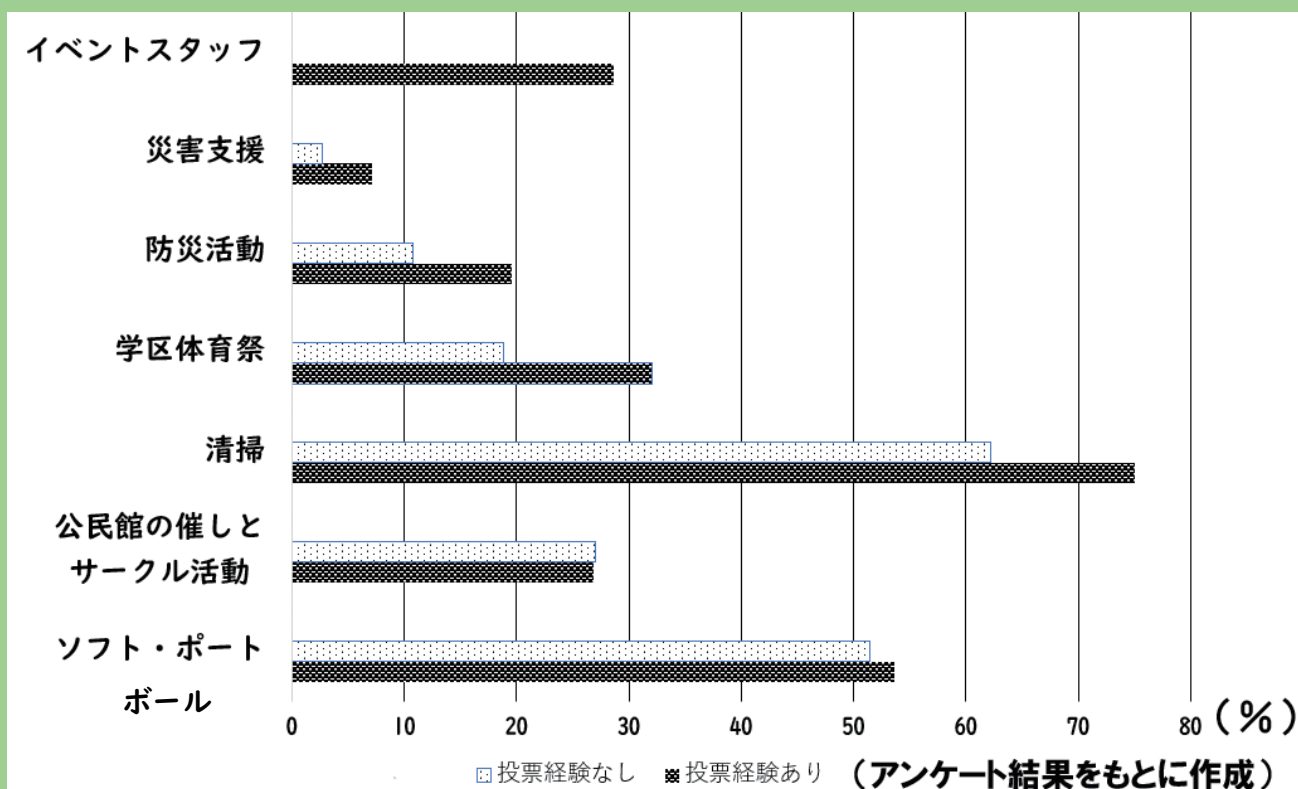
\フォローしてね!



## 図1. 地域活動参加と投票経験の有無による分類



## 図2. 投票経験の有無と地域参加の内容の違い



参議院議員選挙の投票日は令和4年7月10日(日)です

# 岡山市選挙管理委員会事務局取材(2021年12月)



選挙管理委員会事務局の井上さん、長谷川さんに岡山市の投票率向上の取り組みについて取材に伺いました。自分たちの幅広い疑問に丁寧にお答え頂いたり、投票率向上のための案についてアドバイスを頂いたりしました。お忙しい中、ありがとうございました！！

## ■岡山市の取り組み

- ①若者が集まる**イオン岡山に投票箱を設置**。若者が投票所に来ないなら、若者がいるところに投票所を！
- ②小中高生を対象に投票の大切さを学んだり、実際に模擬投票ができたりする**出前授業**などを選挙管理委員会事務局が実施。

Q. 実際の政党や候補者が学校に来て話してくれたり、授業で実際の政党や候補者の主張を教えてくれたら、若者にもわかりやすいのですが…

A. 特定の政党や候補者だけに話してもらうと不公平になるし、すべての政党や候補者に来て話してもらうのは現実的に難しい。また別の人が授業で政党や候補者の主張を完璧に代弁するのも難しい。**公平性**を考えないといけないのです。

## ■自分たちの投票率向上アイデア

Q. 社会参加や投票行動などでポイントがつくポイントカード、スマホアプリを作ると、社会参加が増え、政治参加にもつながるのでは？

A. 実現のためには、特定の政治家の選挙運動や利益供与に利用されたり、買収行為となることがないようにしないとイケないね。

選管事務局では選挙のこと以外に公務員の仕事や岡山市役所についても丁寧に教えて頂きました！レディオモモにも一緒に出演！

